

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 6 NO 2 1981. 5. 1
平塚市博物館 TNO 61



描く基礎からの出発

●市民のアトリエ・デッサン教室

毎月第2木金曜日のデッサン教室、4月9日、10日のデッサン教室から、今年の会員の皆さんにインタビューしてみました。

—入会した動機はどういうことですか？感想は？

Kさん 「油絵をやりたいと思っていました。仕事の関係でなかなか習う機会がなかったのです。本を買って、教育テレビの初心者向けの番組を見たり少し自分なりに描いておりました。やっぱり基礎が何もわからないものですから、デッサンをみずからやりたいと思いました。」

Mさん 「私は花が好きなのネ。今までは花、野草の写真だけを撮っていたんですけど、写真じゃあまりにもつまらないから、少し時間がかかってもいいから、自分で描けたらいいな—と思って参加したんです。でもこんな風に本格的にやるんで、びっくりしちゃって、なんかついてゆかれるか心配です。これがうまくいったら版画をやりたいと思います。」

Iさん 「去年参加してみてつくづくデッサン力のないのを痛感し、水彩教室を続けてやっていますが、色付けするまえにデッサン力がないために、いつも仕上の段階で先生にお見せすると、デッサン力のなさを指摘され結局絵がぶちこわしだということになっているんです。

風景でも静物でも自信をもって構成し絵にしたいので、その基礎をきちんと身につけたいと思います。」

Kさん 「絵の展覧会をあっちこち見ているうち、自分でも描けるように思って、勉強してみたくなり水彩画をやっているんです。1~2年やってもおかしなものばかり描けてしまい思うようにいきません。速い、近い、丸いとか向う側を描くとか、きちんと描けるようになりたいと思います。

もっと描き込むことをしたいし、本格的に絵画表現に役立つ勉強、例えば色彩の基礎訓練などもやってみたいと思います。」

デッサン教室では、初歩的なことから段階を追ってきちんと形を描写できるように、厳しい訓練を行います。芸術も科学も自然を正しく観察することから出発しています。謙虚な心で眼を開きましょう。

-----5月の行事-----

- 体験学習 53 「草木遊び」
○日時：5月12日(火)午前9時30分～11時30分
- 石仏を調べる会
○日時：毎月第2・4土曜、午後2時～4時
- 星を見る会「惑星を見よう」
○日時：5月15日(金) 午後6時～8時
○場所：金目公民館
- 自然観察会—初夏の海辺をたずねて—
○日時：5月31日(日)
午前9時～午後3時(雨天中止)
○場所：大磯、照ヶ崎海岸付近
- 土曜観察会
○毎月第2、4土曜日、午後1時30分～5時
○5月9日・・タンポポ調べ
○5月23日・・高麗山の季節ごよみ

~~~~~6月の行事~~~~~

- 6月自然観察会  
—緑の山を歩こう—  
日時：6月14日(日) 雨天中止  
9時～15時  
コース：高麗山・湘南平付近  
テーマ：高麗山の地質、植物と昆虫など  
申し込み：5月31日までに往復ハガキで。多数の場合は抽選で30名。

光がまぶしい5月の浜辺で1日を過ごしてみませんか。平塚の付近ではただ一つの磯(岩に出た海岸)である照ヶ崎をたずねて、岩のすき間で触手をのぼすイソギンチャクや、テトラポットにすみついているタマキビなどを観察します。照ヶ崎の岩は、いつ頃の時代にできたものかも勉強します。大磯漁港の建物には今年もたくさんのイワツバメが巣を作っていることでしょう。ひなに餌を運ぶ親ツバメの動きぶりもゆっくり観察できます。



→ 縄文中期深鉢土器 — 平塚市五領ヶ台遺跡出土 —

口径24.5cm  
高さ32.5cm

虫めがね

もえる緑の中での「ナイスショット」や、芝目をしっかり読んだ「カップイン」の音。ゴルフ愛好者にはたまらない「快音」である。

しかし、同じ音でも「怪音」となると話しは別。だいいち、怪奇、怪談、怪漢、はては怪聞、怪死などへと連想されていくからいけない。

ところで、博物館1階に江戸末期の旧名主の家が復元されていることはご存知のとおり。この深い年月を経た居間に腰掛けると、土間に展示されている「くるり」、「さいづち」、「ひきうす」、「へっつい」などが目に入り、それぞれ「生活の音」を思い出させるから不思議だ。

「くるり」の音から農繁期の忙しさを、「さいづち」からワラ打ちの音を、「ひきうす」の音から真っ白いダンゴを、そして「へっつい」からは、麦ワラのはじける音を・・・・・・。

近ごろは、こうした「生活の音」を耳にすることは、ほとんどなくなりました。

今日も我が家では「音声多重さま」とかいうやつが音の支配者づらをしている。(貞)

- 土曜観察会  
6月13日 カエルの声を聞く。(豊田)  
6月27日 高麗山の季節ごよみ。

参加希望者は、60円切手同封のうえ、封書で申しこんでください。  
博物館受付でも参加案内を配布しています。

- 星を見る会  
太陽黒点の観察とスケッチをします。  
日時：6月21日(日) 11時30分～1時  
場所：博物館1階科学教室  
参加方法：参加はどなたでも自由です。当日博物館に集合してください。  
持ちもの：赤えんぴつ、えんぴつ(HかHB)

展示 ●寄贈品コーナー 56年4月～5月  
博物館に寄贈された資料の中から、4月、5月は車大工の道具と炭焼きの写真を紹介しています。車大工の道具は市内虹ヶ浜の内田武弘氏から寄贈されたものです。内田氏は昭和32年頃まで現在の宮松町で荷車、牛車、鎌などの柄を作っておられました。炭焼きの写真・原木・炭は平塚西ロータリークラブが今年の、11月22日に炭焼きをした時のものです。

- 天文情報コーナー (3階)  
—プラネタリウム原画展 展2—  
「母子ぐま」  
くまになった母のカリストと、その息子アルカスの話。プラネタリウム投影で使われているスライドの原画を展示します。  
○5月1日～6月7日

●今月の水そう (2階展示室 川の魚と漁)  
ドジョウ  
今月の水そうにはモツゴ(クチボソ)のほか、4匹のドジョウが入りました。ドジョウは、水田や、泥底の川を好み、平塚周辺にも、たくさんすんでいます。口のまわりにはひげが生えていますが、全部で何本あるか、よく観察してみてください。時々、水面に浮かび上がるのは、口から空気を吸い、腸呼吸を行うためです。

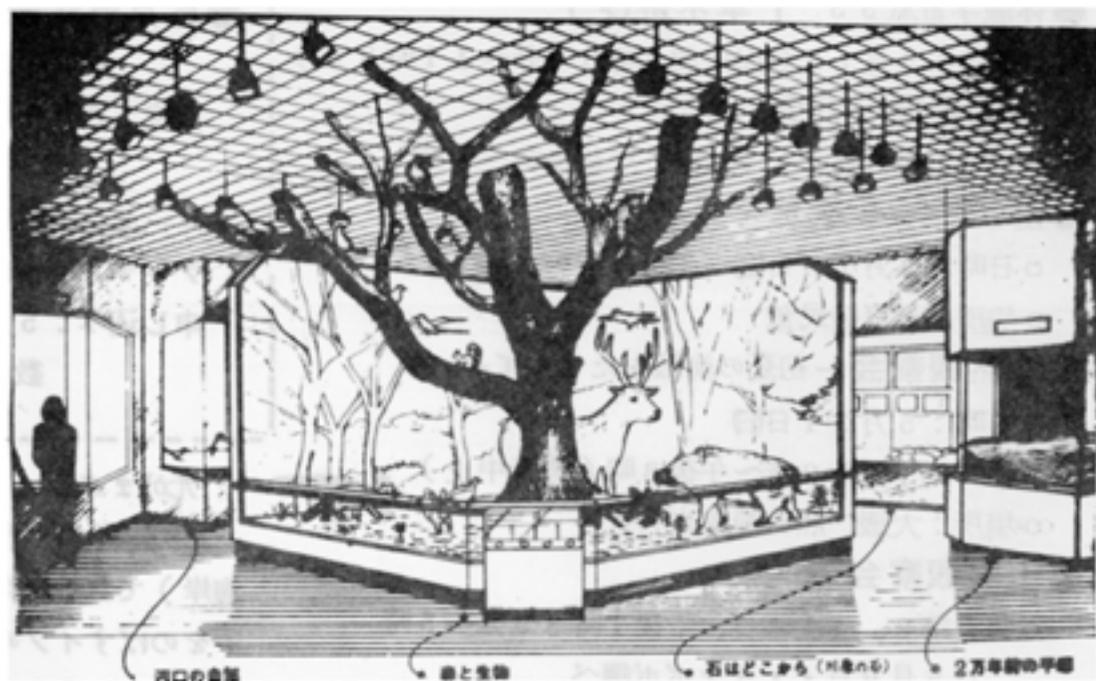


大磯港のイワツバメ

- 新収集資料(56年3月1日～4月15日)  
3月3日 チグー式  
大磯町大磯1912 川崎辰太郎氏寄贈  
6日 一本釣(小釣)の船  
茅ヶ崎市南湖5-6-28 鈴木濃治氏寄贈  
12日 計算機(電気)  
平塚市中原3-24-21 和田文吉氏寄贈  
4月7日 コサギ  
市内万田 採集  
8日 エナガ巣  
市内万田 採集  
9日 ニオイタチツボスミレ他  
市内吉沢 採集

# お知らせ 6月8日～6月30日

1階の展示替と、くんじょうのため、**休館**いたします！



## ●博物館の臨時休館のお知らせ

博物館では、来る6月8日より、常設展示の一部展示替と、全館の殺虫消毒のため臨時休館をいたします。

(完成図)

## ●休館日：6月8日(月)～6月30日(火)

ただし、21日(日)までは館行事に参加される方は入館できます。23日(火)以後は殺虫消毒のため館内週辺の立ち入りも禁止します。

## ●学芸日誌

- 3月15日 城島地区自然観察会を実施
- 3月18日 図書館より雑誌バックナンバー受入。  
(科学朝日など)
- 3月24日 美術品の監査を午後から、また終日、  
属学芸員が、プラネ音響設備の調整を行う。
- 3月25日 船橋市視察来館
- 3月28日 寄贈品コーナー展示替。担当 小川学芸員。
- 3月31日 天文情報コーナーで「プラネタリウム  
原画展」の展示作業。担当 本荘主任。
- 4月7日 一階展示替えにともなう打ち合わせ。
- 4月8日 館内リーフレットの色校が出る。
- 4月10日 定例会議、議題は、各学芸員月例予定  
の打ち合わせと、56年度予算のうち、  
報償費、賃金などの予算配分。
- 4月11日 星を見る会(木星、土星をみよう)を  
実施。

## メモ

● ティーン教室の参加者を募集したところ、40名の定員に、70名の参加を受けて、水し、悲鳴をあげている。

● 最近全国的に、建設がブームに各地から、視察が博物館や資料館のなっているのですが、よく見られる。



● 博物館南側の芝生に、毎日夕方になると五、六羽のムクドリが来て虫をついばんで行く。毎日定期便のようにやってくるので、その時間になると、ついで窓の外が気になってしまう。(A.H)